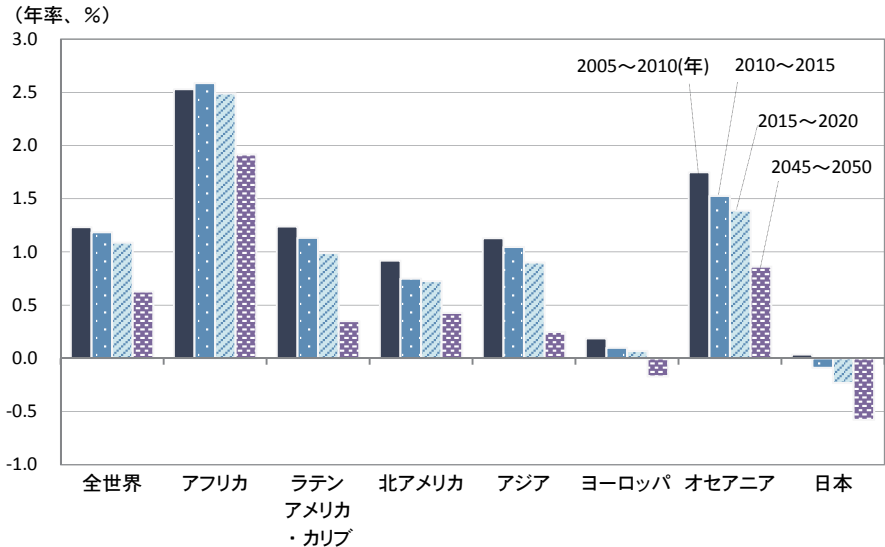


2 人口・労働力人口

2-2 人口増加率



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第2-2表 人口増加率」(p.56)を参照。

国連の『2017年版世界人口予測』によると、全世界の人口は、2015年の73億人から、2030年に85億人、2050年には97億人に達し、この35年間に約24億人増加すると予測（中位推計）されている。

世界の人口増加率は寿命の伸長に伴って上昇し、1965～1970年には年率2.05%のピークに達した。その後、人口増加の速度は、主に先進地域における出生率の低下によって減速した。2005～2010年は1.23%に低下し、2045～2050年には0.63%まで落ち込むと予測されている。

上のグラフをみると、ヨーロッパ地域の人口増加率は2010～15年に年率0.10%、2015～20年に0.07%と低水準を続けた後はマイナスとなり、2045～50年は-0.17%になる見通しとなっている。日本の増加率はこれを上回るスピードで低下し、2010～15年に-0.09%、2015～20年に-0.23%とマイナスを続け、2045～50年には-0.58%となる見込みである。

アジア地域、北アメリカ地域及びラテンアメリカ・カリブ地域の増加率も2015年以降はいずれもゼロ%台にとどまる。世界の人口増加の中心となるのはアフリカ地域で、2010～15年に2.59%、2015～20年に2.49%、2025～30年に2.25%と2%台の増加率で推移すると予測されている。